

進む「統合報告書」への転換

欧州では、企業の「統合報告書」への移行が注目されている。


統合報告書とは、年次報告書（財務情報）とCSR報告書（非財務情報）の統合である。移行の背景には、投資家のニーズ、ステークホルダーへの説明責任が要因として挙げられる。

現在のCSR報告書では、環境・社会の取り組みや中長期的な経営戦略が、財務パフォーマンスや経営実績にどのような影響を与えたのか分かりづらい。そこで、企業のパフォーマンス、価値やその影響について評価をするために必要な情報として、環境・社会に関する情報が財務情報と統合された形で開示されることが求められている。

国際統合報告書委員会（IIRC）の技術部長ルイス・ガスリー氏は、「統合報告書は、サステナビリティ報告書ではない。進化した企業報告書の

ことである」と話す。

統合報告書発行に取り組む企業の意見をまとめると、①トップのコミットメント②マテリアリティ（重要性）の定義③基準・フレームワークの構築④社内教育・研修⑤CSR部門とファイナンス部門の連携⑥より積極的な社内コミュニケーション⑦企業カルチャーへの融合、の7つが必要となる。統合報告書は、ノボノルデイスクが現在世界を牽引しているが、まだ試行錯誤の段階で完成形へは達していないという。IIRCは、パイロットプログラムを展開中で、2012年中に公開草案の提出を目指し、GRIは、第4版である統合報告書を意識したG4を2013年5月に発効する予定だ。しもたや・たけし CSRコンサルタント。欧州と日本のCSRの懸け橋となるべく2010年サステナビリティビジョン株式会社をロンドンに設立、代表取締役。英国イーストアングリア大学環境科学修士、ランカスター大学MBA。



英国 IEMA 認定

サステナビリティ (CSR) プラクティショナー資格講習

第3・4回目 開催決定!!

開催地：大阪・東京

この資格講習は、英国の主要団体であるIEMAの公認の資格であり、世界で通用するCSR資格です。本資格講習は世界各地（シカゴ、ワシントン、ニューヨーク、ブリュッセル、ドバイ、アブダビ、アテネ、クアラルンプール、東京）で既に実施されており、世界5大陸で現在300人以上の資格保持者がいます。本資格を取得することにより、組織内外でのCSR計画・戦略・プログラムをより効果的に実施することができるようになります。CSRスキルアップ・キャリアアップに活用することができます。



第2回目（5月24・25日：東京）開催の様子

レクチャーとグループワークがバランスよく織り交ぜられた2日間の集中プログラム

- サステナビリティ・CSR・持続可能な開発
- グリーン&コーズリレーテッドマーケティング
- CSRと気候変動の世界のトレンドと関連法規
- サステナビリティ・CSR戦略と報告書作成
- ステイクホルダーアプローチとトリプルボトムライン
- 国際基準(国連グローバルコンパクト・ISO26000等)
- カーボンフットプリント戦略

◆ 場所 ◆ **大阪** ◆ 日程 ◆ **2012年9月 6日(木)・ 7日(金)** ◆ 定員 ◆ **20名**

◆ 場所 ◆ **東京** ◆ 日程 ◆ **2012年9月 12日(水)・ 13日(木)** ◆ 定員 ◆ **20名**

定員になり次第締め切りとさせていただきます。

定員になり次第締め切りとさせていただきます。



講師
サステナビリティ
下田屋 毅



ゲスト
CSE
ニコス・アヴロナス

サステナビリティ株式会社は、英国 IEMA 公認トレーニング団体である Centre for Sustainability and Excellence (CSE) と戦略的パートナーシップを締結。IEMA 公認資格である「サステナビリティ (CSR) プラクティショナー資格講習」を日本で開催しています。

お問い合わせ・申し込みはウェブサイトから www.sustainavisionltd.com

Sustain a Vision サステナビジョン株式会社

在英日本商工会議所会員企業

Web : www.sustainavisionltd.com/ E-mail : infojo@sustainavisionltd.com

携帯からもウェブをご覧ください!

